

成田空港旗杯少年野球の部 大会特別規則

- 1.ベンチに入れる人員は、登録されたチーム代表者（私服）、及び監督（背番号 30）が各 1 名。コーチ（背番号 28,29）、及びスコアラー（私服）1 名、選手介護員 1 名の 6 名以内。主将（背番号 10）、及び選手（0～27 番）が 9 名以上 20 名以内とし、背番号（規定の寸法）は必ず付けなければならない。但し、参加するチームの部員数が 1・2 年生を除き 8 名に満たない場合は連合を認める。
- 2.単独で出場するチームの各選手（監督、コーチ含む）は、ユニフォーム、帽子、ストッキング、アンダーシャツが同色・同型でなければならない。ユニフォームを着用していない者は、練習中でもグラウンドに入ることは出来ない。しかし、審判員が認めた場合は除く。
- 3.スパイクは、全員同色（基本色）同型が望ましい。連合チームの場合は所属するチームのものとする。（選手は金属製スパイクの着用禁止）
- 4.打者、走者、次打者、ランナーコーチは、両側にイヤラップが付いたヘルメットを必ず着用する事。金属バットは J S B B のマークが付いた公認のものに限る。
- 5.捕手は、ヘルメット、マスク（一体型不可）、レガース、プロテクター及びファールカップ（女子は除く）を必ず着用する。
- 6.シートノックは 5 分以内とする。
- 7.試合は 6 回戦で勝敗を争う。同点の場合は、直ちに『特別延長戦』を行う。尚、試合時間が 1 時間 30 分に達したら、新しい回には入らず、その時点の得点を持って勝敗を決する（決勝戦も同様）。同点の場合は、同様に特別延長戦を行う。
- 8.『特別延長戦』は継続打順とし、前回の最終打者を 1 塁走者、2 塁、3 塁走者を順次前の打者とし、一死満塁から始める事とする。三死まで行い、各イニングで得点の多いチームの勝ちとする。出場選手の交代は認める。尚、特別延長戦は最高 2 回戦までとし、勝敗が決しない場合は抽選で勝敗を決する。（決勝は特別延長戦を繰り返す）
- 9.コールドゲームは、4 回以降、得点差が 7 点以上ついた時に適用する。（決勝戦は除く）
- 10.日没、降雨によるコールドゲームは、4 回終了後に適用。4 回終了前の場合はノーゲームとして再試合とする。
- 11.同一投手の投球回数は 1 試合 4 イニング（特別延長も含めて 12 アウト）とする。なお、4 年生以下の投手の投球回数は 1 試合 3 イニング 9 アウトとする。
- 12.コーターシーランナー（臨時代走）を認める。
- 13.ベンチは、組み合わせ番号の若い番号を 1 塁側とし、先攻・後攻はトス（抽選）とする。
- 14.抗義権のある者は、監督（ファールライン以内）及び当該プレーヤーとする。
- 15.監督が投手の所へ行く回数の制限は、公認野球規則 5.10(l)を採用する。尚、監督（コーチは不可）が投手のもとへ行く場合は、マウンド迄の往復は駆け足を励行する。
- 16.メンバー表の提出は、大会本部へ試合開始 4 0 分前に監督、主将が 3 部持参（放送する場合は 1 部追加）してトスと球場等の諸注意を確認する。
- 17.理由なく試合開始時間（1 5 分前）迄に会場本部に到着していない場合は、試合放棄したものとする。
- 18.本大会特別規則を除く他は、その年度の「公認野球規則」を適応する。
- 19.チーム全員がスポーツ安全保険等の傷害保険に加入していること。